

# 事業の流れ

四国地方整備局の仕事は企画から完成、その後の維持管理まで全ての過程に携わるとともに、地域の実情や要望、環境面などを踏まえた総合的な立場で全体をマネジメントすることです。

社会資本整備を進めていくために様々な部署があり、それぞれの部署で技術系職員と事務系職員が連携しながら業務を行っています。技術系の職場というイメージがありますが、事務系職員も大きな役割を果たしています。



## 地域のニーズや課題の把握



平成12年度入省(技術) >>>  
企画部 広域計画課 計画調整係長  
**泉保 佑介**  
私は四国圏の国土形成に関する基本的な方針や施策を示した「四国圏広域地方計画」の策定を担当しています。四国では南海トラフ地震への備えなどの自然災害への対応、急激な人口減少など様々な課題に直面しています。この課題に対して、将来に向けてどのようなことに取り組むべきなのかを検討し、計画を定め、着実に進めていくことが重要です。安心・安全な暮らしを守り四国の発展につながる仕事として責任感を持って取り組んでいます。

令和2年度入省(技術) >>>  
四国山地砂防事務所 調査課  
**今村 健竜**  
私は入省時に「砂防」を全く知りませんでしたが、砂防堤の設計や点検の際の現場調査や土砂災害の疑似体験装置の防災イベントへの出展などの広報活動といった仕事を通して、急峻な山奥で土砂災害防止のための対策を実施している砂防の過酷さと重要性を知りました。四国山地砂防事務所は、四国では唯一の直轄砂防事務所、事業規模が大きく、責任を感じながら日々の仕事に励んでいます。

平成31年度入省(技術) >>>  
土佐国道事務所 工務課  
**西森 聖人**  
自ら発注した図面が実際に形になる、これはとてもやりがいのある仕事です。トンネルなどの工事積算業務で発注した工事であっても、課題に直面することもあります。一つ一つの工事の積み重ねによって、一日も早急責任感と緊張感を持って

平成28年度入省(事務) >>>  
土佐国道事務所 経理課  
**上原 沙也加**  
私は、道路をつくるために必要な測量などの契約事務を担当しています。契約手続きにミスがあると事業者の方や事業進捗に大きな影響を与えてしまうため、技術担当課との打合せや書類のチェックは慎重に行っています。一つの契約が入札公告から支払いまで滞りなく進むと、ほっとするとともに達成感を得ることができます。事務官であっても、契約事務を始め様々な仕事を通して社会インフラの整備に携わっていけることがこれからも楽しみです。

平成30年度入省(技術) >>>  
大洲河川国道事務所 道路管理課  
**富山 美咲**  
私は、現在愛媛県内の南予地域を支える国道56号線などの維持管理を担当しています。業務では、工事などの発注作業に加え、事故や災害時には道路利用者のため、より安全安心に通行できるようにすることも維持管理の仕事となっています。平成30年7月豪雨での経験を経て、道路が物資輸送や救援に関わり、地元住民の生活の支えであることを実感できたことは、責任感ある仕事だと気づききっかけになったと同時に私のやりがいへと繋がっています。

平成30年度入省(技術) >>>  
小松島港湾・空港整備事務所 企画調整課  
**山崎 大智**  
私は、現場見学会や出前講座等を通じて、組織の役割や社会資本整備の重要性、それに携わる人々の魅力を皆さんに伝える仕事をしています。日本の物流拠点である港湾・空港の整備をしているという大切な役割があるので、より多くの人に少しでも分かりやすく伝えることを意識して業務に励んでいます。例えば、実際に荷役をしている船や岸壁を見ても、「港の重要性やスケールの大きさを実感した」等の皆さんの意識の変化を聞いた際は、何事にも代えがたい達成感を得ることができます。皆さんも、この職場で私たちと一緒に働き、その魅力を伝える仕事してみませんか！

事業の中で「広報」も重要な仕事です!

平成29年度入省(事務) >>>  
中村河川国道事務所 用地課  
**山沖 鮎香**  
用地課では事業に必要な土地を取得するために、土地所有者の方契約、登記、補償金の支払業務では、あまり聞き慣れない専門用語に少し土地所有者の方に承諾のやりがいを感ずります。また、事務官でも現場完成した道路を目にした備に携われていることを

平成5年度入省(技術) >>>  
中村河川国道事務所 建設監督官  
**林 勝幸**  
私は、工事の監督・指導や地域住民への工事説明なども行っています。私が監督する区間は、四国を「8の字」で結ぶ予定の四国横断自動車道の一部となる窪川佐賀道路を造っています。高速ネットワークが出来る事で物流機能向上や南海トラフ地震発生時には、救命・救急活動及び緊急物資の輸送道路としての「命の道」ともなり、一日も早い開通を目指しているため責任の重さを日々感じながら仕事をしています。

平成30年度入省(事務) >>>  
徳島河川国道事務所 河川占用調整課  
**谷岡 幸宜**  
私は現在、河川占用調整課で一級河川吉野川などの占用許可や、河川の水の利用に関する許認可業務に携わっています。河川の水の利用や関係する工事などの許認可は、専門的な知識が必要な場面が多くあり、技官に河川管理上問題が無いかなど技術的な助言を得ながら、協力して業務を行っています。また、許認可工事の完成検査等で現場に行った際に、デスクワークだけでは得られない経験ができることも、魅力の一つだと感じています。